

学びの祭典に1、254人が来場

第11回旭市生涯学習フェスティバル



旭市生涯学習フェスティバルが11月14日、15日の二日間にわたり東総文化会館で開催。市内の公民館などで活動する団体により、陶芸や絵画などの作品が展示されたほか、大正琴や太極拳などの実践発表も行われ、家族連れなど多くの来場者でにぎわっていました。

14日には青少年意見発表大会も開催。小学生から社会人まで13人が、自分の思いや将来の夢を発表していました。

翌15日には文化講演会が開催され、フリーアナウンサーの堀尾正明さんが「旭を元気に～あなたが主役でまちが輝く」と題し講演を行うと、会場は拍手や笑いに包まれました。



- ①バルーンアートの体験コーナー
- ②意見発表後に記念撮影、あさピーと一緒にパチリ
- ③講演をする堀尾正明さん

旭市戦没者追悼式

戦没者を追悼し平和を祈念

東 総文化会館で10月30日、旭市戦没者追悼式が行われ、先の大戦で散華した戦没者1,863柱、戦災によって亡くなった戦災死没者58柱の冥福を祈るとともに、恒久平和の誓いを新たにしました。参列した遺族や関係者など242人は、献花台に白い菊の花をささげ、戦没者を悼んでいました。



献花をする参列者

旭市中学校合同文化祭

市内5校の中学生たちがステージ発表



海上中の合唱発表

東 総文化会館で11月6日、市内5校の中学校3年生たちが集い「5色の音色 あふれる笑顔 未来へつなぐ旭の絆」をテーマに、中学校合同文化祭が開催されました。各学校による合唱のほか、琴の演奏、吹奏楽、ダンス、ソーラン節の演舞といったステージ発表が行われ、客席からは大きな声援と拍手が送られていました。

10/5 地方創生に向け活発な意見交換



意見を発表する参加者

市長が地域に出向き、市民とまちづくりについて話し合う地区懇談会が、10月5日から市内6か所で開催されました。今年は市の主な事業や平成26年度の決算の説明とともに、地方創生の推進に向けた「旭市総合戦略骨子」の説明が行われ、参加者からは将来のまちづくりに関する提案や市への要望などが出されていました。

11/1 このまちをもっと好きになるために



雑貨店など多くの店舗が出店

袋公園で「第6回VILLAGE」が開催されました。来場者にこのまちをもっと好きになってもらえるよう、次の世代を担う若手生産者や飲食店、小売店などが集まって旭の魅力を発信。多くの来場者が訪れる中、ハロウィンの仮装をした子どもたちがスタッフに合言葉を告げてお菓子をもらうなど、会場は笑顔であふれていました。

11/5 共に歩んで50年



晴れの日を笑顔で

結婚50周年を祝う旭市合同金婚式が開かれ、市内58組の夫婦が出席しました。式では、来賓から祝いの言葉や記念品が贈られ、出席した一組は「共に力を合わせながら頑張ってきた。この日を迎えられることができ感無量です」と話していました。

11/8 産業まつりが合同開催、にぎわう会場



会話が弾む販売コーナー

「いきいき旭・産業まつり」と「ふるさとまつり・ひかた」が旭文化の杜公園で合同開催。県内有数の農産物や特産品の販売・PRなどのほか、演歌歌手で旭市観光大使の椎名佐千子さんによる歌謡ショーが行われ、雨模様にもかかわらず多くの来場者でにぎわっていました。

第7回向太陽杯パークゴルフ大会

パークゴルフと旭の味覚で交流



ボールの行方を追う参加者

パークゴルフを通じて交流を図るとともに、市の特産品などをPRしようと10月26日と27日の二日間にわたり、あさひパークゴルフ場で開催された向太陽杯パークゴルフ大会。市内のほか全国各地から訪れた160人の参加者たちは、互いに腕を競い合いました。昼食には旭の食材を使った豚すき丼やポークカレーなどが振る舞われ、笑顔で頬張る参加者の姿がありました。

大会は、男子の部で渡辺貢さん(東庄町)、女子の部で中島幸子さん(船橋市)が優勝に輝きました。

旭市九十九里海岸2,000本植樹祭

大きく育て！ 2,000本のクロマツ



苗木を植える参加者

野中の海岸保安林で10月25日、クロマツ2,000本の植樹が行われました。津波や松くい虫の被害に遭った保安林の再生をしようと昨年からは実施しているもので、市民や青少年健全育成団体など200人が参加。植樹を終えた子どもたちは「10年後、100年後の未来まで大きく育てほしい」などと話していました。